

変形自在の新しい移動手段をタイに！

－高齢者や身体の不自由な方も移動しやすい街づくりに貢献－

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社アキュレイトシステムズ(東京都千代田区、山田和彦代表取締役社長)が提案する「移動弱者ゼロの未来型都市におけるパーソナルモビリティ(PM)案件化調査」(タイ国)を採択しました。

タイは2005年に高齢化率が7%を超え高齢化社会を迎えて以降、急速に進む高齢化への取組が急務になっています。タイ政府は、高齢化社会を見据えた未来型都市のコンセプト作りを進めており、地方都市における中心部へのアクセス改善のため、都市鉄道の整備が進んでいます。しかし、最寄駅から目的地までの「最後の1歩」の移動手段が限られると公共交通機関の利用が進まない可能性があるため、移動弱者である高齢者や身体の不自由な方々に配慮した移動手段の確保が課題になっています。

株式会社アキュレイトシステムズのマルチパーパスモビリティ(以下、mPm)は軽量、コンパクト、デザイン性にも優れた、高齢者や身体の不自由な方を含めた老若男女が安心・安全・快適に利用できる新たな移動手段です。利用者に合わせて形態を変えられるほか、汎用車椅子と連結して介護者をパワーアシストすることも可能です。また、IoT ダイナミクス理論を応用した世界初の安全運転制御を適用し、安全性においても優れています。



Walker(シルバーカー)
参考速度: 2km/h



シニアカー(電動車椅子)
6km/h



スケートボード(発電)
10km/h



汎用車椅子との連結(介助型)
4km/h

今回の調査では首都バンコクを中心に、「高齢者の移動手段の確保や介護の充実」「ラストワンマイルの移動手段の確保」「移動弱者の移動手段の確保」「公共交通のさらなる利用促進」という課題に対しmPmをどう活用できるかを明らかにし、今後のビジネス展開を目指します。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を行う。2012年度から実施されており、2017年度第1回分は今年3月に公示を行い、36件が採択。(参考サイト: https://www.jica.go.jp/press/2017/20170620_01.html)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 広報室報道課 宮田

TEL 03-5226-9780 e-mail: Miyata.Naoaki@jica.go.jp